

東北日日新聞

本報創刊二十二年
年報五圓
半年報二圓五角
三個月報一圓五角
一個月報五角
零售每份五分
印刷部
仙台市大町
電話二六六

設計の欠陥か請負人か

新川護岸壁のほうかい

奇怪なる特命工事の暴露

悪水組合との關係重大視さる

平町、内郷、飯野一町二ヶ村の組織である悪水豫防組合では、縣補助を仰いで被害の根源とされたる、新川改修工事を續行してゐる。

一町二ヶ村の地理的關係によつて、利害を同じうする組合の立脚地は凡て同一権利の伸張でありもするし、義務でもあるのであることは事明の理であらう。

この組合の名分論を前提として、新川改修工事の**現實**暴露を論議せんとするものである。

縣補助工事であるコンクリート護岸壁が、ハミ出して來た。

その兩岸が、だん／＼と押出して來る結果として巨太な丸太で突つかい棒をしてゐる。

あの儘で放置するつもりなのか、全然新しく仕直そうとするのかは吾人の如き素人では、見當もつき兼ねるが、請負仕事

といふものもあんなことでもないとなら到つて氣樂なものである。

これから先き、何年もあつた、突つかい棒であるとするならば、誠に以つて

天下泰平でもあつた、平町新川が櫻の名所であるばかりでなく、最上一ツ悪水豫防組合の七不思議でも出来さうである。

あの工事をして直ちに不正工事であるとは言はないが、直前の事實はなにを物語つて居るかは、専門技術家でもなくして、當然、はつきりと認識できるであらう。

即ち不完全であつたことが、工事請負人の責任であるか………。

それとも技術者としての設計が悪かつたかの二點に歸するであらう。

今日となつても、この責任者としての辨明もなしに、い／＼の疑惑を解くべき何等の材料さへも提供

とすることは、請負人、直接責任ある技師、組合管理者が赦しても、社会的公道正義が赦しておくれものではないであらう

隣接宮城縣土木課長にも請負人との間に、罪惡ありとして司直の裁断下にある由であるが、

組合の技師が設計したとするならば、その技師が村に於ける家屋税調査委員責任を公明にすべきであらうし、請負人の責任とするのであるならば、新ら票總數一千七百七票で有権しく出直してこそ然るべきであるが、之等一切票に對し三百廿四票即ち二に責任を負ふ者に、一町割五分の棄権並に死亡失格二ヶ村の町村長がある。

者があつた譯で尙投票中に**何故に町村長は黙してゐるのか**

沈黙はまず、疑惑を深

刻化して行くであらう。一町二ヶ村の町村長等は自己の責任を痛感して聲明を發表して、社會に公正を辯明すべきであらう。

平町の

家調當選者氏名

松永氏がおしくも敗れる

棄権は約二割五分

- 一〇六 井上茂作(政)
- 八四 野崎滿藏(民)
- 七九 柳田榮太郎(政)
- 七七 鍋田三重(中)
- 七六 前澤文太郎(民)
- 七五 馬目玉彌(民)
- 七二 齋藤寅吉(中)
- 七二 鈴木重助(政)
- 六六 長小次郎(民)
- 六六 相川延太郎(中)
- 六〇 鈴木光吉(中)
- ▲當選
- 一一六 堀江正茂(政)

昨日選ばれた

本郡内當選者氏名

初の家屋税調査委員に

- ▲湯本町(定員十六名)
- 上川才松、木村徳三郎、若松考平、若松利徳治、矢吹佐市、岸清吉、鯨岡原道、矢吹莊司、若松條助、若松忠兵衛、渡邊長作、高木守彌
- ▲小名濱町(九名)
- 野崎亟之助、菅野良太郎、松本徳次郎、水野政次郎、馬上兵吉、小野晋平、堀貞吉、國井忠太、小野豊
- ▲飯野村(六名)
- 箱崎才三郎、北郷喜多治、永山菊治、木村公三郎、江尻多吉、志賀忠之助
- ▲磐崎村(十二名)
- ▲夏井村(六名)
- 矢吹豊、小林清六、木銀次郎、鶴沼喜六、坂本善久、箱崎玉之助
- ▲高久村(六名)
- 本間武、小野淺治、鈴木喜太郎、松本作治、箱崎半左門、鈴木林之助
- ▲鹿島村(六名)
- 新妻 雄、吉田政治、荒川千松、鈴木大藏、波立佐一、鈴木一男
- ▲豊間村(六名)
- 阿部源兵衛、鈴木留吉、鈴木繁松、遠藤嘉吉、鈴木兼五郎、志賀重衛
- ▲玉川村(六名)
- 駒木根忠三、長瀬主水、鈴木平九郎、丹清彌、新妻安吉、中野廣
- ▲赤井村(九名)
- 金成新衛、磯上弥之松、吉田佐内、猪狩忠人、吉田萬吉、菅野三郎、田久彌七、柴崎春松、矢野安
- ▲平窪村(六名)
- 鈴木忠三郎、長瀬源三郎
- ▲好間村(十二名)
- 大寺新吉、大平國治、佐藤藤作、金成淺治、鈴木重行、井出林太郎、木田孝平、鈴木茂作、伊藤庄助、鈴木清藏、中村政行、緒方瀧治
- ▲上下小川組合村(六名)
- 國井義、草野定藏、吉田榮男、柴崎佐之助、箱崎秀治、吉田長光
- ▲三坂澤渡組合村(六名)
- 室原怒助、阿部直衛、大竹克彦、永山久助、松崎安房、小平慶治
- ▲永戸三輪組合村(六名)
- 吉田豊美、藁谷信雄、平山柳藏、合津忠雄、遠藤宗重、大和田象雄

五〇吉村安次郎(民)

四九荒川凌次郎(民)

三五 荒木忠夫(民)

▲次 點

二二 松永友太郎(民)

磬女三學年

日光旅行便り

(第一信)

朝霧のまはれやらぬ中を平をはなれ廣はくたる關東平野を西へ西へと上つて日光へ着きました。日光から馬返まで電車にゆられ、徒歩で大谷川の急流に沿うてつらい思ひで然し元氣に羊腸たる坂道を上りました。

華嚴の瀧は豫想より水量も多く全く壯嚴の美を表してゐました。

開場益一、松崎銀之助、鈴木勇、福田國吉

▲神谷村(六名)

佐藤安次郎、佐藤藤助、鈴木善壽、酒井長一郎、菅波兵庫、西部忠助

▲更らにつかれた足を早め

中禪寺湖畔にたどりつきました。

夕陽を全身にあびて暮れ行く男体山の湖面にうつる影はまた一入の眺めでした。

四時半宿に着き、ゆつたりと湯に入り汗を流し楽しい夕げの繕につきました。

九時らく床につき寝ながら表を通るながしの聲を聞いて旅愁の寂しさをしみ／＼と味はひました

鈴木氏母堂永眠

石城郡高久村縣會議員鈴木成三郎氏母堂アサ子刀自は昨十一日病氣療養中の處七十八歳の高齡で永眠されたが葬儀は来る十四日午後二時佛式にて舉行されると

特賣
たひら正宗 福島縣清酒 一等賞受領 品評會
花春 同優等賞受領

蓋屋最上醬油醸造元

山崎合名會社

平町土橋 電話一〇番二七番
東京上野車坂四三

東京支店

電話下谷五七二番

何時ニテモ御隨意

入學ニ應ズ

平町南町

平産婆學校

校長 清野キヨ

家傳



東京 蜂岸淋丹 分舖

リン病消カチの藥
一週間分金二圓七十錢 二週間分金五圓三週間分金七圓
御申込次第密送す
平町南町火の見下

高久病院

電話五一三番

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 新瀉醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

石炭 正味十貫目 一俵金六十錢

磐城炭礦。最優等炭

コークス 一俵金二圓二十錢

木炭代用。無煙無臭。家庭用炭

玉炭 一箱金貳圓也

石炭ハ目方ノ正確ヲ期スル爲メ正味十貫目ヲ一俵ノ標準ト定メマシタ

配達迅速 (電話二三七番)

磐城炭礦販賣總代理店

阿部石炭商店

萬人の嗜好に適す

芳香豊なる洋酒
芳醇なる名酒末廣
ホタン自慢の洋食
平町四丁目
出前 高級食堂 **ボタン**
迅速
電話八五四番

専門 内科一般

内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五

川井内科診療所

電話七三三番

醫學士 川井 重子
女醫 川井 安子

電話賣物有り

尙御不用の電話は買入れます

委細面談

平町三丁目

文福堂

初夏サロンの新装

四月拾日ヨリ

樽詰生ビール並ニタンク入ソーダ
水の用意が出来ました
ソーダフアンテン設備完成
カップ一杯 十五錢
ジョッキ一杯 五十錢
ドーズ散歩がてらに御来店を
平町字田町通り
美味でさくらよいサロン
評判のさくらよいサロン
サロンの公休日は毎月第三日曜
電話三五二番

アイギ

リンコート
セビロ三ツ組
サージ通學服
トシモチリ
ゴム引マント

正札堂

平町停車場通り
電話四三六番

毎度有難う

お茶菓子にはドーズ
染野のお菓子を召上り下さい
平町新田町三益隣り

名代だんご **染野餅菓子店**

電話呼出三〇四

勸業債券兩替
復興債券金融

多田井質店

電話八六九

オートバイ
自轉車商
部分品

織田自轉車店

電話五三三番